

都市部鉄道構造物の近接施工対策マニュアル

目 次

第1章	総則	
1.1	目的	1
1.2	適用範囲	3
1.3	用語の定義	5
1.4	近接施工一般	8
1.5	近接程度の判定	23
1.5.1	近接程度の区分	23
1.5.2	近接程度の判定と表し方	25
第2章	調査	
2.1	一般	31
2.2	事前調査	32
2.3	本調査	33
2.3.1	地盤調査	33
2.3.2	既設構造物の調査	38
2.3.3	既往近接施工の調査	40
2.4	その他の調査	41
第3章	近接施工（構造物）の評価	
3.1	一般	42
3.2	盛土・切土	43
3.2.1	概要	43
3.2.2	近接程度の判定	44
3.2.3	影響予測	56
3.2.4	対策	58
3.2.5	計測管理	63
3.3	仮土留め工を用いた掘削	64
3.3.1	概要	64
3.3.2	近接程度の判定	66
3.3.3	影響予測	74
3.3.4	対策	78
3.3.5	計測管理	80
3.4	打込み杭	82
3.4.1	概要	82
3.4.2	近接程度の判定	83
3.4.3	影響予測	88
3.4.4	対策	89

3.4.5	計測管理	91
3.5	埋込み杭	92
3.5.1	概要	92
3.5.2	近接程度の判定	93
3.5.3	影響予測	99
3.5.4	対策	100
3.5.5	計測管理	102
3.6	場所打ち杭	103
3.6.1	概要	103
3.6.2	近接程度の判定	104
3.6.3	影響予測	110
3.6.4	対策	111
3.6.5	計測管理	113
3.7	深礎杭	114
3.7.1	概要	114
3.7.2	近接程度の判定	115
3.7.3	影響予測	120
3.7.4	対策	121
3.7.5	計測管理	123
3.8	地下連続壁	124
3.8.1	概要	124
3.8.2	近接程度の判定	125
3.8.3	影響予測	131
3.8.4	対策	132
3.8.5	計測管理	134
3.9	オープンケーソン・PC ウェル	135
3.9.1	概要	135
3.9.2	近接程度の判定	136
3.9.3	影響予測	140
3.9.4	対策	141
3.9.5	計測管理	143
3.10	ニューマチックケーソン	144
3.10.1	概要	144
3.10.2	近接程度の判定	145
3.10.3	影響予測	149
3.10.4	対策	150
3.10.5	計測管理	152
3.11	シールドトンネル（推進管を含む）	153
3.11.1	概要	153
3.11.2	近接程度の判定	154

3.11.3	影響予測	158
3.11.4	対策	161
3.11.5	計測管理	165
3.12	都市部山岳工法トンネル	166
3.12.1	概要	166
3.12.2	近接程度の判定	167
3.12.3	影響予測	171
3.12.4	対策	173
3.12.5	計測管理	176
第4章	近接施工（補助工法）の評価	
4.1	一般	178
4.2	薬液注入工法	179
4.2.1	概要	179
4.2.2	近接程度の判定	180
4.2.3	影響予測	183
4.2.4	施工上の留意点	184
4.2.5	計測管理	186
4.3	深層攪拌混合工法－機械式攪拌混合工法	187
4.3.1	概要	187
4.3.2	近接程度の判定	188
4.3.3	影響予測	194
4.3.4	施工上の留意点	195
4.3.5	計測管理	197
4.4	深層攪拌混合工法－高圧噴射攪拌混合工法	198
4.4.1	概要	198
4.4.2	近接程度の判定	199
4.4.3	影響予測	203
4.4.4	施工上の留意点	204
4.4.5	計測管理	206
4.5	地下水位低下工法	207
4.5.1	概要	207
4.5.2	近接程度の判定	208
4.5.3	影響予測	209
4.5.4	施工上の留意点	211
4.5.5	計測管理	212
第5章	計測管理	
5.1	一般	213
5.2	計測計画	214
5.3	計測	215
5.4	管理値	219

5.5	計測管理-----	223
第6章	近接施工記録	
6.1	近接施工記録の作成-----	225